

しんきゅうしき
進級式



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 24・13～32
霊の目を開かれて
彼らの目が開けて、それがイエ
スであることがわかった。

目標

ルカ 24・31
霊の目を開いて頂いて、復活の
キリストを見る者となる。

4月3日（日）

聖書
聖句

ルカ 23・13～32
彼らの目が開けて、それがイエスであ
ることがわかった。 31節

目はあいていて、見ているようでも、何も見え
ていない目のことを「ふし穴」と言います。た
だの黒い穴だね。エルサレムからエマオに向
かうふたりの弟子たちの目も、イエス様によっ
て開かれるまでは「ふし穴」でした。四つのふ
し穴！！ 実は彼らの目には、いろんなメガネが
かかっていて見えていなかったんだというこ
とがわかります。でもある時、ある瞬間、心の目
が開けて、イエス様が見えた！ 最高の瞬間で
した。

祈り 天のお父様、わたしの心の目をふさいで
「ふし穴」にするものを取り去ってくだ
さっていつもイエス様が見えますように。

4月4日（月）

聖書
聖句

ルカ 24・13～16
イエスご自身が近づいてきて、彼ら
と一緒に歩いて行かれた。 15節

イエス様の十字架の死と復活のニュースは、
きっと広く遠く知らされていったにちがいあり
ませんね。エルサレムからエマオの村へ行くこ
としていたふたりのお弟子さんたちの話題もそ
のことでした。ふたりは、「アレコレ、アレコ
レ、ああでもない、こうでもない、ペチャク
チャ」とその事について語り合いつつ歩んでい
ました。人はいつもそうです！ そこへなんと、
イエス様が近づいてきて一緒に歩かれたので
す。

祈り 天のお父様、人はよく知らないでアレコレ
話しますが、実際に復活されたイエス
様のご臨在がすべてです。

4月5日（火）

聖書
聖句

ルカ 24・17～18
彼らは悲しそうな顔をして立ちど
まった。 17節

ふたりの弟子たちには、その見知らぬ人がイ
エス様だとはわからなかったのです。「なんの
ことを語り合っているのか？」と尋ねられるイ
エス様のユーモア！！ ふたりの弟子たちは、
「悲しそうな顔をして立ち止まった」とありま
す。そうなのです。彼らの目には『悲しみの色メ
ガネ・サングラス』がしっかりかかっていたの
です。悲しみがあまりに大きく深いと、イエス様
のことが見えなくなってしまうのです。

祈り 天のお父様、あまり悲しみすぎてイエス
様を見失ってしまうことがないように、
しっかり注意していきます。

4月6日（水）

聖書
聖句

ルカ 24・19～21

わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。 21節

あなたもガッカリ！することがありますか？
ここでこのふたりの弟子たちもガッカリ！失望しちやった心だったのです。「なんの事を話しているの？」と聞かれ、「都で起ったことを知らないのですか？」と言うと、その人は「それは、どんなことか」と言います。ここにもイエス様のユーモア！彼らはナザレのイエスこそイスラエルを救う方だ、と望みをかけていたのに一と、『失望のサングラス』でしたね。

いのちの祈り
天のお父様、本当はイエス様は輝かしく復活され、今、目の前におられるのに…失望は目を見えなくするとわかりました。

4月7日（木）

聖書
聖句

ルカ 24・22～27

ああ、愚かで心のにぶいため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。 25節

ふたりの弟子たちは、数人の女たちが、「イエスは生きておられる」と御使に告げられたこと、他の弟子たちがお墓に入るとイエスが見当たらなかったと知らされたことを話しました。するとイエス様は、ため息まじりに、「ああ、なんという不信仰！」と嘆かれました。そうです、『不信仰というぶ厚いサングラス』がかかっていて全く見えなかったのです。イエス様はモーセから始めて、ずっと聖書全体を、ご自身について解き明かされました。

いのちの祈り
天のお父様、聖書をもっともっと読み、お話ををもっともっと聞いて、しっかり信じる心の持ち主にしてください。

4月8日（金）

聖書
聖句

ルカ 24・28～29

わたしたちと一緒に泊まり下さい。もう夕暮になっており、日は傾いています。 29節

エマオの村に近づきました。その旅の人が先へ行こうとされるので、ふたりの弟子たちは、ぜひひとと、引き止めてお願いしました。「わたしたちと一緒に泊まり下さい」と。ふたりの弟子たちは、実はとってもよいことをしたのでした。きょうのみ言葉は新聖歌336「日暮れてやみはせまり」という歌になっています。「主よ、ともに宿りませ」（Abide with me.）で、ロンドン五輪の開会式で演奏された曲です。

いのちの祈り
天のお父様、わたしもいつも「イエス様、わたしとともにいてください」とお祈りして、日々主と共に過ごしたいです。

4月9日（土）

聖書
聖句

ルカ 24・30～32

道々お話しになったとき、また聖書を解き明かして下さったとき、お互いの心が内に燃えたではないか。 32節

「あーッ、イエスさまー！！」っと、ふたりの目が開けて、イエス様だとわかったのです！それは、一緒に食卓につかれて、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、でした。「イエス様だーっ！」ってわかった瞬間に、お姿が見えなくなりました。その時ふたりはしみじみと思い当たるふしがあったことに気付きました。「そうかー聖書を解き明かして下さった時、心が熱く内に燃えたよね」って。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様について書かれている聖書を読むとき、ますます心の目を開いてイエス様が見えるようにしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 20・24～29

信仰への招き

あなたはわたしを見たので信じ
たのか。見ないで信ずる者は、さ
いわいである。ヨハネ 20・29
キリストの導きの中で目に見
えないキリストを信じる者とな
る。

目標

4月10日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 20・24～29

見ないで信ずる者は、さいわいであ
る。 29節

「うっそう！ホントウ？」「信じられなあい」
というような時、あなたならどちら？「信じま
す？」「いや、信じられません？」ここに登場
するのは「疑い深い」とレッテルを張られてい
るトマス。彼は「見なければ、決して信じない」
という人でした。彼は考えようによれば、
「正直」だったのです。イエス様は彼のすべて
をご存じで、八日後、二度目にトマスのいる所
に来てくださいました。ひれ伏すトマスに、「信
じる人になりなさい」と言われます。

祈り

天のお父様、あなたやイエス様を見ない
で信じていることが、どんなに幸いなことで
あるかが、よくわかりました。

4月11日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 20・19～23

そう言って、手とわきとを、彼らに
お見せになった。弟子たちは主を見
て喜んだ。 20節

マグダラのマリヤから、復活の主にお会いし
たと聞いても、弟子たちはユダヤ人をおそれて、
戸をピタツとしめ切っていたのです。週の
初めの日の夕方のことです。戸がしまっていた
のに、イエス様が入ってこられて、彼らの中に
立って「安かれ」と言われ、手とわきとを見せ
てくださいました。弟子たちの喜ぶ顔が目
に浮かぶようですね。弟子たちは主を見て喜ん
だのです。その弟子たちをイエス様は聖霊に
満たしておつかわしになるのです。

祈り

天のお父様、何がうれしいと言って、よみ
がえられて生きておられるイエス様を見
る喜びは最高の喜びです。

4月12日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 20・24～25

わたしは、その手に釘あとを見、
わたしの指をその釘あとにさし入れ、
また、わたしの手をそのわきにさし入
れてみなければ、決して信じない。 25節

「残念だったねえ、トマス！」「君も一緒にい
たらよかったのに」、「イエス様とお会したん
だよ。弟子たちだって、イエス様を見たから喜
んで信じたのです。トマスだけ疑い深い人間
だとみんなから言われていますが、トマスは
正直だったのです。信じるふりはできなかった
のです。だから、こんなふうに言うしかなかった
のですね。「ちゃんとこの目で見て、この指でさ
わってみるまでは絶対に信じられないよ」とね。

祈り

天のお父様、わたしも時には信じられな
いと思えるような時があります。ありの
ままあなたにお祈りしていきます。

4月13日(水)

聖書
聖句

ヨハネ 20・26～29

トマスはイエスに答えて言った、
「わが主よ、わが神よ」。 28節

イエス様がトマスのそんな心を知らないはずがありません。イエス様はわたしたちの苦しみ悩む心をよくわかってくださって、イエス様らしい方法で素晴らしく解決してくださいます。八日後です。今度はトマスも一緒にいた時、戸が閉められていたのに弟子たちの中に来てくださいました。そしてトマスに、「さあ、指をわきに入れてみなさい。信じない者にならないで、信じるものになりなさい」と言われ、トマスは心から主を礼拝しました。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を生きておられる神様として心から礼拝し、見ないで信じるさいわいな者になります。

4月14日(木)

聖書
聖句

Ⅱコリント 4・16～18

わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。18節

あなたの目はよく見えますか？ 視力1.5だとバッチリですね。でも肉眼は時々見まちがえたり、見そこねたり、そして段々と視力が落ちます。それに目に見えるものは一時的で、どんどん変化したり、なくなっていったりします。何て心細く、頼りないことでしょうね。でも、見えないものに目を注ぐ世界があります。信仰の目をもって見る世界です。目に見えず、手に取って見せてあげられない大切なものがいっぱいあります。永遠に続くものです。

いのちの祈り 天のお父様、目に見えるもの、目から飛び込んでくる一時的なものに、振り回されないようお守りください。

4月15日(金)

聖書
聖句

Ⅱコリント 5・1～10

わたしたちは、見えるものによらないで、信仰によって歩いているのである。 7節

「それで、わたしたちは心強い」と続いています。きのうも見ましたように、見えるものは、本当に一時的でどんどん変化したり、なくなったり、過ぎ去ったりしていきます。どうですか？あなたのかわいいペットも、もしかしてなくなったかもしれませんね。見えるものを頼ったり、あてにするのではなく、見えないもの、すなわち、目に見えないけれど、ちゃんとおられる神様を信じる信仰によって歩くなら、心強いし、安心して進めるのです。

いのちの祈り 天のお父様、見えるものではなく、それを造り、治めておられる、目に見えないあなたを信じて歩ませてください。

4月16日(土)

聖書
聖句

ヘブル 12・1～2

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。 2節

「イエスから目を離さないでいなさい」と新改訳聖書にはあります。「一体、何を信じていったらいいのかしら」、「一体、何に頼っていったらいいのかしら」、「一体、何をみつめていったらいいのかしら」と、みんなさがし求めているにちがいありません。そこで、「ハイ！ イエス様ですよ！」と、わたしたちは迷わず、言えるのです。イエス様は信仰者のお手本です。父なる神様を信じぬき従いぬいて、今、天の座についておられます。しっかり見つめ続けましょう。

いのちの祈り 天のお父様、どんな時も、何が起こってもいつでもイエス様を仰ぎ見つつ、目を離さず進んでいけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 24・44～53

キリストの証人として

あなたがたは、これらの事の証人である。 ルカ 24・48

目標

キリストによる恵みを知った者として、キリストの証人として生きる。

4月17日（日）

聖書
聖句

ルカ 24・44

わたしが以前あなたがたと一緒にいた時分に話して聞かせた言葉は、こうであった。 44節

イースターから、よみがえられたイエス様の箇所を読んでいます。弟子たちは、イエス様は本当に、本当に、よみがえられたんだ～！と、うれしさでいっぱいでした。そんな弟子たちにイエス様は、十字架にかかれる前にお話されたことを、もう一度お話されたのです。弟子たちが、みことばをしっかりと理解するためです。

みことばというのは、一度聞いたらいじょうぶ！…ではありません。おなじ聖書箇所でも、聞けば聞くほど、よ～くわかるようになるし、新しく教えられます。神様のことばは、ふしぎ。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのみことばをもっと理解するために、これからもずっと聖書から聞きつづけます。

4月18日（月）

聖書
聖句

ルカ 24・44

モーセの律法と預言書と詩篇とに、わたしについて書いてあることは、必ずことごとく成就する。 44節

「モーセの律法と預言書と詩篇」というのは、イエス様がお生まれになる以前に書かれた「旧約聖書」のこと。そういえばイエス様が出てこないなあ、と思いますよね。でも、実はイエス様をあらわすため、旧約聖書は書かれていて、イエス様についてたくさん預言されています！イエス様も「わたしについて書いている」とハッキリ言われました。

旧約聖書もしっかり読んでいきましょうね。そうすると、イエス様のお話の意味も、さらによくわかるようになるんですよ。

いのちの祈り

天のお父様、旧約聖書もとても大切だとわかりました。しっかり読んで、イエス様のことをもっと理解できますように。

4月19日（火）

聖書
聖句

ルカ 24・44～45

そこでイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて 45節

イエス様が、弟子たちにお話を聞かせたのは、みことばを理解するためでしたね。もっとくわしく言うと、弟子たちは、以前イエス様が話されたみことばの意味を、ぜんぜんわかっていなかったんです。イエス様が弟子たちの心を開いてくださり、彼らはみことばの意味を、心の底からわかるようになったわけです。

みことばを読むとき、イエス様が心を開いてくださるよう祈りましょう。「あ！そういうことだったんだ！」と、みことばが本当にわかった時って、涙が出るほどの感動。あなたにも、そんな感動を体験してほしいのです。

いのちの祈り

天のお父様、みことばが心の底からわかる体験をしたいです。どうか、わたしの心をひらいてください。

4月20日（水）

聖書
聖句

ルカ 24・45～47

その名によって罪のゆるしを得させる悔改めが、エルサレムからはじまって、もろもろの国民に宣べ伝えられる。 47節

イエス様が十字架の苦しみをうけ、三日目によみがえられること。弟子たちはやっとそのことがわかりました。そしてもう一つ大切なこと。それは、イエス様による罪のゆるしは、世界中の国々に伝えられるということ！

イエス様とか教会とか、日本と関係ないよ～と考える人っているんですけど、はずれ。聖書は、イエス様のことは世界中に伝えられる、って言っています。どこの国とか関係なし。イエス様は、全世界の救い主です。

いの

祈り 天のお父様、イエス様が世界中の救い主であることを感謝します！ そのことをいろんな人に知ってもらえますように。

4月21日（木）

聖書
聖句

ルカ 24・45～48

あなたがたは、これらの事の証人である。 48節

みことばを弟子たちに語られたイエス様は、彼らに言われました、「あなたがたは、これらの事の証人である」。弟子たちは、イエス様が十字架にかかれ、よみがえられたこと（復活）を、その目でハッキリと見ました。目の前でイエス様の声を聞きました。たしかに目で見て、聞いた人のことを「証人」というのです。

こののち、弟子たちは「わたしたちはイエス様の十字架と復活の証人です！」と人々に伝えるようになります。「キリストの証人」になったのです。弟子たちが伝えたことが、今、あなたにも伝わっているんです。すごいでしょ！

いの

祈り 天のお父様、イエス様の十字架と復活のニュースを、わたしにも届けてくださったことを本当に感謝します！

4月22日（金）

聖書
聖句

ルカ 24・49

見よ、わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る。 49節

キリストの証人となった弟子たち。さあつ、さっそくイエス様を伝えるぞ～！とはいきませんでした。イエス様は、「わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る」と言われたのです。それは「聖霊」のこと。神様の霊である聖霊が来られて力をいただくまでは、都にいなさい、とイエス様は言われました。人の力では、イエス様を伝えることはできないからです。

わたしたちにも、聖霊の力が必要です。イエス様のことをどうやって伝えたらいいんだろ…と考えている、あなた。イエス様を伝える力は、聖霊だけがくださるのです。

いの

祈り 天のお父様、自分の力ではイエス様を伝えられません。聖霊の力をわたしにもあたえてください。

4月23日（土）

聖書
聖句

ルカ 24・44～53

あなたがたは、これらの事の証人である。 48節

イエス様は、弟子たちに語り終えられると、彼らを祝福してくださいました。そして、みんなが見ている前で、天にのぼって行かれたのです。イエス様の十字架、復活、そして天にのぼられた姿もたしかに見て、キリストの証人となった弟子たち。弟子たちがイエス様を伝えて、次の人が伝えて、また次の人が…。そして今も、世界中に伝えられています。

イエス様の十字架と復活を信じるすべての人は、キリストの証人。あなたもキリストの証人としてあゆみませんか？ いただいた恵みを、あなただけのものにせず、ぜひ伝えてください！

いの

祈り 天のお父様、これからわたしを、キリストの証人として、イエス様をお伝えする人にならせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒1・9～11
キリストの再臨の約束
イエスは、天に上っていかれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであらう。使徒1・11

目標

ふっかつしょうてん しゅ ふたたび ち
復活昇天の主は、再び地においでになることを信じる。

4月24日（日）

聖書
聖句

使徒1・11
イエスは、天に上っていかれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであらう。11節

イエス様は、よみがえりの日から 40日、お弟子さんたちにあらわれて元氣と勇氣をあたえ、はげまされました。そして、とうとう天におかえりになる日がきたのです。

え～ん！やだよ！ イエス様がいなくなったらどうしていいかわからないよ！って思う？
イエス様は、そんなわたしたちに約束されました。また来てくださるって！！

いつイエス様が来てもいいように、イエス様が喜ばれる毎日にし、沢山の人がイエス様に喜んで会うために、イエス様を伝えよう！

祈り

天のお父様、いつでもイエス様にお会いできるように、じゅんびしていきます。

4月25日（月）

聖書
聖句

使徒1・9
こう言い終ると 9節

えっ？ なにを言ったのかなあ？

じつはね、イエス様は、天にのぼるまえに、お弟子さんたちに「聖霊」をくれるって言うてくれたの！ 聖霊をもらおうとどうなるの？

聖霊をもらおうと、イエス様の愛やきよさ、神様をしらないでいる人たちを助けたい！というきもちがドッカーンって心にあふれるよ。

そして、なによりも、目には見えないけれど、いつもイエス様といっしょにすることができて、次にイエス様に会う日がくるまで、イエス様のことをみんなに伝えるパワーがもらえるんだ！ あなたは、聖霊をもらっていますか？

祈り

天のお父様、わたしも聖霊をもらって、心にイエス様の思いとパワーがいっぱいになりますように。

4月26日（火）

聖書
聖句

使徒1・9
イエスは彼らの見ている前で天に上げられ、雲に迎えられて、その姿が見えなくなった。 9節

「天国や神様なんてうそ！」ってたくさんの人が言います。でも、イエス様のことを知っているみんなは天国も、神様のことも信じる事ができるね！ それってやっぱりお弟子さんたちが本当に「見たから」「伝えたから」だね！

イエス様が天に上げられるのを見ながら、お弟子さんたちは「天国って本当にあるんだ」「イエス様はやっぱり神の御子だったんだ」と心から信じられたでしょうね。

あなたは「天に上げられたイエス様」のこともおなじように信じていますか？

祈り

天のお父様、お弟子さんたちが見て、伝えてくれたこのできごとを信じます。

4月27日（水）



使徒1・10～11

なぜ天を仰いで立っているのか。
11節

ぼ～っとするのが好きな人いませんか？ 目の前にとってもたいせつなものやできごとがあるのに「べつに～」「あ、そうなんだあ」なんて言っている人、いないですか？

お弟子さんたちも、イエス様が天に上っていられるのを、ただず～っとず～っと見ていたかったかもしれないね。

そんな時に天使さんからのひとこと！

「ぼ～っとしてるだけでいいの？」そう、何もしないのではなく、何を見たのか、何を信じているのか、天国やイエス様のこと、みんなに伝えに出かけるじゅんびをしないとイケないね！ イエス様がまた来られるから！

祈り 天のお父様、わたしも、イエス様のために何かをはじめます！

4月28日（木）



マタイ 24・42

だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。
42節

お客さんがとつぜんやってきたけど、おへやがぐちゃぐちゃにちらかっていて、はずかしかった！ ってことは今までになかった？ いつ、たいせつなお客さんが来てでもいいように、おへやはいつもきれいにしていきたいね。

イエス様も、いつ、あなたのところへ来られるかはわからないんだって！ イエス様が来てくれたのはいいけれど、心の中が罪でぐちゃぐちゃだったら、喜んでイエス様に会える？

だから、いつも心の目をパッと開いて、罪が入って来ないようにするのです！

祈り 天のお父様、罪が心に入ってくないよう、心の目をさましつづけます！

4月29日（金）



マタイ 24・3～14

そしてそれから最後がくるのである。
14節

すてきな服をきて、おいしいごはんを食べて、あたたかい風呂やベッドに入ること、ほしいものはお父さんやお母さんにおねだりすれば買ってもらえる、そんな毎日があたりまえだと思っている人はいませんか？ 地球や宇宙もず～っと昔から変わらないし、これからも変わらない？

イエス様は「最後がくる」って教えているよ。

そのころには地震やききん、せんそうのうわさ、悪いじけん、にせキリストが現れるって。

そんな中でもぜったい忘れてはいけないこと！ それは、ただ、イエス様のお約束だけをつよくつよく信じ続けることです！

祈り 天のお父様、イエス様のお約束はぜったいだって、つよくつよく信じます！

4月30日（土）



使徒1・11

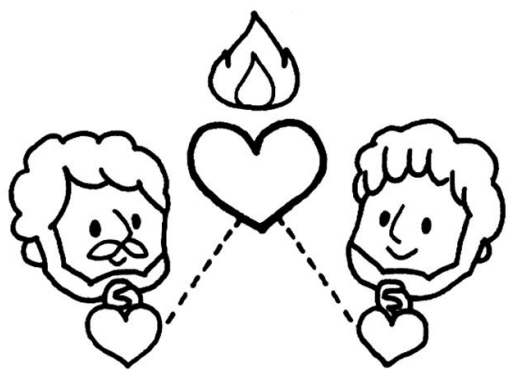
イエスは、天に上っていかれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう。
11節

一週間、イエス様がまた来られること（再臨）をず～っと考えてみてどんなふうにおもった？ 早くイエス様に会いたい！ って思えた？ それとも、今はまだ心のじゅんびができていないって思った？ なんか怖いって思った？

でも、お父さんやお母さんに約束をかなえてもらったらすごくうれしいでしょう？ それ以上に、待ちに待ったイエス様とのお約束がかなう日はどれだけすばらしいだろうね！

神様を信じるわたしたちには、この日は人生でさいこうの喜びの日、勝利の日、えいへの平和がくる日、いちばんの希望なんだよ。

祈り 天のお父様、お約束の日がわたしにとってもいちばんの喜びの日です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒1・12～14
聖霊待望の祈り
彼らはみな、…心を合わせて、
ひたすら祈をしていた。

目標

使徒行伝1・14
聖霊の恵みを求めて、心を合わせて祈る。

5月1日（日）

聖書
聖句

使徒1・12～14
彼らはみな、…心を合わせて、ひたすら祈をしていた。 14節

ペンテコステって知っていますか？ それって何？と思う人がいますか？ これはイエス様が復活して、40日目に天に帰られたあと、お弟子さんたちが父なる神様からの約束の聖霊を祈り待ち望んで、10日目について！聖霊なる神様が地上に注がれた記念の日のことです。復活からは50日目でしたね。ペンテコステとはギリシャ語で50日目のという意味です。聖霊はイエス様の霊です。心を合わせて熱心に祈るなら私たちにも注がれるのです。

祈り 天のお父様、イエス様のように生きることができるよう、私たちも心を合わせて聖霊を求めてお祈りします。

5月2日（月）

聖書
聖句

使徒1・1～5
エルサレムから離れないで、かねてわたしから聞いていた父の約束を待っているがよい。 4節

イエス様の復活！ なんて輝かしいことだったでしょう！ そのイエス様が、たびたび弟子たちの前に現れて、「私だよ！」と言ってくださって、弟子たちは感激しました。「わあ、イエス様は生きておられるんだー」とね！ 今もそうですよ。イエス様はやがて、父なる神様のもとに帰られるので、その代わりに注いでくださる聖霊を待ち望んでエルサレムでお祈りするようと、弟子たちに命じられました。それは、「父の約束」なので必ず与えられるのです。

祈り 天のお父様、あなたの約束である聖霊なる神様が、私の心にもお宿りくださるようにと、心からお祈りします。

5月3日（火）

聖書
聖句

使徒1・6～11
ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。 8節

「イエス様は救い主ですよ！」と大胆にお友達に話す人のことを、「イエス様の証人」といいます。「え、それって、勇気のいることだね。私にはとてもできないわ」と思う人がいますか？ そうなのです。自分の力ではできないのです。どうしても必要な力、それが「聖霊の力」なのです。天からの聖霊をいただければ、その力、大胆な力が与えられるのです。

祈り 天のお父様、すばらしい救い主イエス様のことをもっともっと伝えられるように、聖霊を求めていきたいです。

5月4日（水）

聖書
聖句

使徒1・12～13

彼らは、市内^{しやう}に行^いって、その泊^とま^{まつ}ていた屋上^{おくじやう}の間^まにあがった。 13節

天^{てん}に昇^{のぼ}っていられるイエス様^{きさ}のお姿^{すがた}をお見^み送^{おく}りしたあと、イエス様^{きさ}のご命^{めい}令^{れい}どおり、エルサレム^{しやう}市内^{しやう}の泊^とま^{まつ}ていた屋上^{おくじやう}の間^ま（アパルム）にあがったのは誰^{だれ}だったでしょう？ ここには、ペテロからはじまって11人のお弟子^{でし}さんが記^{しる}されています。イエス様^{きさ}を裏切^{うらぎ}ったイスカリオテ^{いかりおて}のユダ^い以外^{がい}、全^{ぜん}員^{いん}でしたね。15節には120名^{めい}ばかりの人々^{ひとびと}とあります。実は命^{めい}令^{れい}を聞^きいたのは500人^{にん}以上^{いじやう}の兄弟^{きやうだい}たちでした（I コリント 15・6）。私^{わたし}だったらどうしたかな？

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、イエス様^{きさ}のご命^{めい}令^{れい}だったら、喜^{よろこ}んでそのとおりにすることができ^{できる}る本^{ほん}当^{とう}の弟子^{でし}となれますように。

5月5日（木）

聖書
聖句

使徒1・14

彼らはみな、婦人^{ふじん}たち、特にイエスの母^{はは}マリヤ、およびイエスの兄^{きやうだい}弟^{だい}たちと共^{とも}に、心^{こころ}を合^あわせて、ひたすら祈^{いのり}をしていた。 14節

11人の弟子^{にん}たちと共^{とも}に、婦人^{ふじん}たちとあり、その中^{なか}でも、「特にイエスの母^{はは}マリヤ」とありますね。イエス様^{きさ}のお母^{かあ}さんのマリヤさんは、本^{ほん}当^{とう}に信^{しん}仰^{かう}のあつい、すばらしい人^{ひと}だったことがわかりま^す。救^{すく}い主^{ぬし}イエス様^{きさ}をお宿^{やど}しする人^{ひと}として、神^{かみ}様^{さま}から、たったひとり、選^{えら}ばれた人^{ひと}でした。ここでも、大^{たい}切^{せつ}な聖^{せい}霊^{れい}を待^{まち}ち望^{のぞ}んで祈^{いのり}るお祈^{いのり}り会^{かい}にマリヤさん^{さん}はちやんと参加^{さんか}していま^した。私^{わたし}も神^{かみ}様^{さま}のこ^{こと}を第一^{だいいち}にでき^{でき}ますように。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、小^{ちい}さい私^{わたし}ですが、大^{たい}切^{せつ}な教^{きやう}会^{かい}のいろん^ななこ^{こと}を、みん^なと心^{こころ}を合^あわせてお祈^{いのり}りでき^{でき}ますように。

5月6日（金）

聖書
聖句

使徒1・14

彼らはみな、婦人^{ふじん}たち、特にイエスの母^{はは}マリヤ、およびイエスの兄^{きやうだい}弟^{だい}たちと共^{とも}に、心^{こころ}を合^あわせて、ひたすら祈^{いのり}をしていた。 14節

お母^{かあ}さんのマリヤさんと共^{とも}に、「イエスの兄^{きやうだい}弟^{だい}たち」とあります。この人^{ひと}たちは、イエス様^{きさ}がお生^うまれにな^なったあと、ヨセフとマリヤから生^うま^うれた弟^{おとうと}たちです。その人^{ひと}たちの名^な前^{まえ}は、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンでした（マルコ 6・3）。彼^{かれ}らは、実^{じつ}はイエス様^{きさ}のこ^こを神^{かみ}の子^ことは信^{しん}じてい^いなかつたのです（ヨハネ 7・5）。けれどもき^きつと、復^ふ活^{かつ}されたイエス様^{きさ}を見^みて、信^{しん}じたのです。祈^{いのり}の輪^わの中^{なか}に加^{くわ}わりま^ました。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、今^{いま}は信^{しん}じてい^いない人^{ひと}たちでも、必^{かな}ず信^{しん}じて、共^{とも}に祈^{いのり}り合^あうことができ^{でき}るようにな^なると信^{しん}じます。

5月7日（土）

聖書
聖句

使徒2・1～11

すると、一同^{いちどう}は聖^{せい}霊^{れい}に満^みたされ、御^み霊^{たま}が語^{かた}らせるま^まに、いろい^ろろの他^た国^{こく}の言^{こと}葉^はで語^{かた}り出^だした。 4節

「五^ご旬^{じゆん}節^{せつ}の日^ひが」ついに来^きました！ つまり、復^ふ活^{かつ}から50日^{にち}目のこ^{こと}です。天^{てん}からの激^{げき}しい風^{かぜ}が吹^ふくよう^{よう}な音^{おと}が、みん^なながすわ^わって祈^{いのり}りして^いた家^{いえ}いっばいに響^{ひび}きわたりま^ました！ 舌^{した}のよう^{よう}なものが炎^{ほのお}のよう^{よう}に分^わかれて現^{あらわ}れて、ひとりび^{ひとり}とりの上^{うへ}にとどまりま^ました。すると、ど^どうでし^しょう！ 彼^{かれ}らは約^{やく}束^{そく}の聖^{せい}霊^{れい}に満^みたされ^たのです。そし^して、いろい^ろろの言^{こと}葉^はで、神^{かみ}様^{さま}の大^{おほ}きな働^{はたら}きにつ^{につ}いて語^{かた}り出^だしま^ました。聖^{せい}霊^{れい}の力^{ちから}は、ほん^{ほん}とうに私^{わたし}たちを主^{しゅ}の証^{しやう}人^{にん}にするのです。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、ペンテコステ^{ペンテコステ}をありが^あとうご^ございま^ます。心^{こころ}を合^あわせて祈^{いのり}って聖^{せい}霊^{れい}に満^みたされ^たて用^{もち}いら^られたいです。

母の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルツ 1・15～18

ルツ

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。

ルツ 1・16

目標

神を愛し、人を愛して、神に祝福された生涯を送る。

5月8日（日）

聖書
聖句

ルツ 1・16

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。 16節

今日は母の日だね！ あなたをこの地球に生み出して、あなたを守り、育ててくれるお母さんに「ありがとう」の気持ちを伝えよう！

さて、今日のみ言葉はルツが、ナオミという人に言った言葉です。ナオミはルツの本当のお母さんじゃなかったけれど、ルツは自分の国や人生を捨ててまで、ナオミについて行きたい！って思ったみたい。どうして？？

いっしょに過ごすうちに、ナオミの信じている本当の神様のことを知り、ルツも本当の神様に従って生きていこうと決心したんだろうね。ルツにとって、ナオミは心のお母さんだね！

祈り

天のお父様、わたしもルツのような信仰の決心をして生きていきます。

5月9日（月）

聖書
聖句

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。

15節

エリメレクとナオミには、マロンとキリオンという二人の息子がいました。すんでいたベツレヘムがききんになったとき、この家族はモアブという所にいきました。でも、エリメレクは死に、二人の息子もモアブ人のお嫁さんと結婚しましたが死んでしまうのです。

さいごに残ったのは二人のお嫁さんだけ。

けれどもナオミは、二人のお嫁さんたちのために神様の祝福があるようにお祈りして、故郷のモアブに返してあげようと思いました。ナオミは、どんなに辛くても自分のことでなく、相手のことをいちばんに考える人だね。

祈り

天のお父様、人のことをいちばんに考えられる優しい心をください。

5月10日（火）

聖書
聖句

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。

15節

一人目のお嫁さんはオルパ。じつは、モアブという所ではいろいろな偶像がおがまれているみたい。オルパはそこへ帰って行ったんだ。

あなたは今、本当の神様を信じていますか？これから大きくなって、いろんなことがあるでしょう。それでも最後まで神様を信じ、死んで天国に行くまで神様といっしょに人生をすごしますか？神様は、ひとり子イエス様の命をくださるほどにあなたを愛してくれています。

大切なのは、愛してくれる神様の愛からはなれないで、あなたも神様を心から愛しつづけていくことなのです。

祈り

天のお父様、ずっと一生あなたの愛を信じてあなたを愛しつづけます。

5月11日（水）



ルツ1・16

わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。 16節

二人目のお嫁さん、ルツは、故郷に帰るよう
に言われてもナオミからはなれませんでした。

自分のこれからの人生を考えたら、故郷に
帰って結婚しなおして生きて行くほうが、ずっ
と楽だったんじゃないかなあ。

人はだれでも自分が幸せでいられる人生を
すごしたいものだけど、自分がそんをしたとし
ても、だれかのため、そして神様のために自分
をささげていく生き方もあるんだ。

じつは、そういう生き方が人にも神様にもよ
ろこばれる生き方なんだ。それが愛なんだ。

祈り 天のお父様、自分がとくするための人生
でなく、あなたと人に、わたしをささげ
られる愛の人生をあゆみたいです。

5月12日（木）



ルツ1・17

あなたの死なれる所でわたしも死
んで、そのかたわらに葬られます。 17節

インドで、貧しい人や捨てられたこども、
病気で死んでいく人のために自分の一生の何
もかもをささげた、マザーテレサを知ってる？
マザーテレサはよく「大切なことは、遠くにあ
る人や、大きなことではなく、目の前にある人
に対して愛をもって接すること」と言ってたよ。

ルツも同じだね。自分が今、だれを愛さない
といけないのか、だれに自分の愛を使わないと
いけないのか、よくわかったんだね。そして、
ルツは「しばらくの間」でなく「死ぬまで」
ナオミを愛そうと思ったのだからすごい！

祈り 天のお父様、一生をだれかのためにさ
さげてゆく大きな愛を教えてください
ありがとうございます。

5月13日（金）



ルツ1・17

わたしがあなたと別れるならば、主
よ、どうぞわたしをいくえにも罰し
てください。 17節

神様を信じ、どこまでも従っていこう、辛く
悲しいときも神様からぜったいはなれなけれ
ば神様は助けてくれる、そう信じてますか？

ルツがナオミをこんなにも愛する気もちは
なかなかマネできないこと。だけど、天の神様
はご自分の命よりたいせつなイエスをわた
したちのために十字架につけてくださるほど、
愛してくれるお方でしょう？

こんなにも愛してくださる神様をつよく信
じるなら、フシギ！ あなたの心にも神様の愛
があふれだして、目の前にいる人をつよく愛し
ていけるのです。

祈り 天のお父様、ほかの人を愛するために、
あなたの愛をもっともっと信じます。

5月14日（土）



ルツ1・18

ナオミはルツが自分と一緒にに行こ
うと、固く決心しているのを見たの
で、そのうえ言うことをやめた。18節

どうしてナオミは言うことをやめたんだと
思う？ いじけちゃったから？ ルツが頑固だ
から？ ケンカになっちゃうから？ いえいえ。

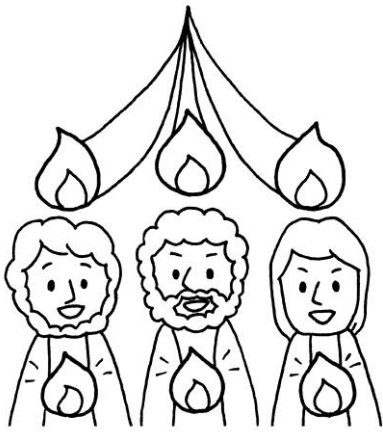
人のためになにかをしてあげることも愛だ
と思うけれど、だれかの気もちをうけとめたり、
うけいれてあげることも愛！

それは大きな心でないとなかなかできない
ことだね。ナオミは、ルツの心をつつみこ
んで受け入れられる大きな心を持っている愛
の人だったんだね。

あなたをまるごと受け入れてくれる神様の
愛のようだね！

祈り 天のお父様、人をうけいれる愛の心を
ください。

ペンテコステ



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒2・1～11

ペンテコステの恵み

一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。使徒2・4
聖霊に満たされ、造り変えられて生きる。

目標

5月15日（日）

聖書
聖句

使徒2・1～17

わたしの霊をすべての人に注ごう。
17節

ペンテコステおめでとうございます。今日はイエス様が復活して50日目、お約束の聖霊が天から注がれた日を記念します。ちょっとおもしろいこの記念日の名前は、ギリシャ語の50をあらわす言葉からつけられました。聖霊降臨日、そして教会誕生記念日です。昔は、特別な人々、つまり、王様とか祭司とか預言者たちにだけ油注ぎといって、聖霊が注がれましたが、イエス様が来られた終りの時、今はすべての人に注がれます。小さいあなたにだって、ですよ。

祈り 天のお父様、私の上にもお約束の聖霊が注がれることを知りました。ありがとうございます。祈り求めていきます。

5月16日（月）

聖書
聖句

使徒2・1～4

すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。4節

「まだかな?」、「きょうもまだなのかな?」、弟子たちは、一日、二日、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日・・・、祈りに祈って、「本当かな?」ともチラッと思ったかもしれません。でも、待ち続けました。本当ですとも! 神様は約束をきちんと守られました。五旬節の日、復活から50日目! 祈り出して十日目! 突然、天からの聖霊が降りました! 風のような音、舌のようなものが炎のように分れて一人ひとりの上にとどまり、みんな聖霊に満たされました。

祈り 天のお父様、あなたのお約束には絶対にまちがいがありませんでした。私も信じて祈って待ち望みます。

5月17日（火）

聖書
聖句

使徒2・5～13

あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くとは、どうしたことか。11節

祈りに祈った弟子たちの心の中の汚れや醜いものは、炎のような聖霊の火によって焼き尽くされました。そして聖霊によってイエス様になされた、大きな愛による救いのみわざを話し始めたのでした。そこにいた色々な国々、民族の人々がわかる彼らの言葉でね。アパルームで祈った人々は120名ばかりの人々でしたが、その人たち、一人ひとりの上に聖霊が注がれました。そこにいたまわりの人々は、本当にびっくり仰天! だったのがよくわかりますね。

祈り 天のお父様、聖霊なる神様が心に満ちてくださると、心の汚れがきよめられ、あかしの舌が与えられると知りました。

5月18日（水）



ヨエル 2・28～32

その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。 28節

「あの人は新しい酒に酔っているんだ」とあざけり笑う人々もいました。そこでペテロが聖霊に満たされて立ち上がりました。「いや、ヨエルの預言のとおりのおこったのだ」と。ヨエル書を調べましょう。ペテロの言ったとおりですね。「すべての肉なる者（人）に注ぐ」とあります。むすこ、娘は預言をする、老人たちは夢を見る。素敵な輝く老人になれる！ 若者たちは幻を見る！ 生き生きと、未来に向かって神と共に生きる若者たちに！

祈り

天のお父様、あなたの約束の聖霊が注がれる時、どの年代の人でも本当に輝いて生きられることを感謝します。

5月19日（木）



ルカ 11・1～13

天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあろうか。 13節

「イエス様、私たちにもお祈りを教えてください」と、弟子たちはイエス様の祈るお姿を見て言いました。するとイエス様は、「主の祈り」を教えてくださいました。あなたはもう「主の祈り」を覚えましたか？ ゆっくりお祈りしましょう。そして「一生懸命求めるなら与えられます」と教えてくださいました。人間の父でも、子どもが求めるそのものを与えるのです。だから、天の父は一番よい贈り物である聖霊を、求めて来る者にきつと与えてくださいます。

祈り

天のお父様、どう祈ってよいかわからない時、「主の祈り」をします。そして、聖霊を求めてお祈りします。

5月20日（金）



ガラテヤ 2・19～21

生きているのは、もやは、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。 20節

聖霊のバプテスマは、水のバプテスマ（洗礼）を受けた人が、その次に与えられるものです。「きよめの恵み」とも言われます。洗礼をまだ受けていないお友だちも、聖霊のバプテスマがどんなものなのか知っておくことはとてもよいことです。古い私は、心の中にガラテヤ 5・19～21節のような醜いものをもっています。今日のみ言葉によって、そんな私は、イエス様と共に十字架につけられて死んだのだと信じます。もう私ではなくイエス様が私のうちに生きておられると信じます。

祈り

天のお父様、自分の心や人の心を傷つける「古い私（自我）」を十字架につけて、イエス様に生きていただきます。

5月21日（土）



ガラテヤ 5・16～26

御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。 22～23節

私たちの心に、聖霊によってイエス様をおうさまとしてお迎えすると、素晴らしい実がどんどん結ばれて、心の中からあふれ出て来ます。だってイエス様ご自身がこのようなご性質のお方だからです。実はイエス様以外には、この世界この宇宙に、こんなうるわしい実を結ぶことができる人はだれ一人いません。イエス様は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制そのもののお方です。イエス様、私の心をあなたで満たしてくださいと叫びたいです！

祈り

天のお父様、この世の中にあって、こんなうるわしい実を結べる人生を与えてくださる恵みを感謝いたします。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒3・1～10
キリストの名による歩み
ナザレ人イエス・キリストの名
によって歩きなさい。

使徒3・6

目標

キリストによって力強くされて
生きる。

5月22日（日）

聖書
聖句

使徒3・6
ナザレ人イエス・キリストの名
によって歩きなさい。 16節

毎日おなじことばかりで疲れたな～って、
暗い気持ちになっている人、いませんか？

心に元気がないとき、あなたはどんなことを
して自分を元気づけていますか？ ゲームをし
たり、お友達とあそんだり、テレビを見たり、
お金もちになったらって想像する人もいかな
あ。でも、お金も、あそびも、趣味も、楽しいっ
て思えるのはほんの一瞬…。

そんなとき、あなたの罪を背負って十字架に
かかってくれたイエス様の大きな大きな愛を思
い出して！ 死んでも生きる命をくれたイエス
様の愛の力があなたを本当に元気にしてくれ
ること！ イエス様の愛の力で生きよう！

祈り 天のお父様、本当の元気をくれるイエス
様の愛の力で今日もすごします。

5月23日（月）

聖書
聖句

使徒3・1～2
ペテロとヨハネとが、午後三時の
祈のときに宮に上ろうとしている
と、生れながら足のきかない男が、
かかえられてきた。 1～2節

信仰にもテストがあるって知ってる？

それはとつぜんやってくるけれど、テストに
合格できるかどうかは、神様とあなたがいつも
どんな関係でいるかがとても大切なのです。

毎日の生活の中で、聖書をよみ、お祈りする
ということは本当に大切なこと！ ペテロは、
イエス様が十字架にかかるとき、3回もイエス
様をしらないと言った人だったね。でも聖霊を
受けたペテロは前の弱いペテロではなかった
よ。さあ、信仰のテストが始まるよ！

祈り 天のお父様、信仰のテストに合格できる
聖霊の力を与えてください。

5月24日（火）

聖書
聖句

使徒3・3～5
ペテロとヨハネとは彼をじっと見
て、「わたしたちを見なさい」と言っ
た。 4節

ペテロとヨハネが出会ったのは、生まれてか
ら一回も立ったことのない人でした。いつも
美しの門の前に、物のように置いてもらって
お金をもらうことしかできない、そんな人。こ
の人の前を通りすぎて行く人たちは、きつとこ
の人を「かわいそう」「きたないこじきだな」、
というふうにしか見られなかっただろうね。で
も、ペテロとヨハネはちがったよ。

イエス様が、罪人や、病気の人を見つめる、
信仰の目、イエス様の目で見つめたんだね。

イエス様の目で見るとき、その人が本当に
必要なもの、自分に何ができるかがわかるよ。

祈り 天のお父様、イエス様の目で人や物ごと
を見られるように助けてください。

5月25日（水）



使徒3・4～5



わたしたちを見なさい。 4節

「わたしを見て！」っていうときは自分がめだちたいときや、気にしてほしいときだね。聞かれた人も「何？ 何かくれるの」なんて、わくわくするよね！ でも、ペテロたちの「見なさい」はちがうみたい！

ペテロたちは、イエス様から、イエス様の愛、赦し、本当の喜びや信仰…たくさんのもをもらいました。だから、きっとイエス様からもらったものをあげたかったんだね。そして、神様にはできないことはないことを教えてあげたかったんだね。

わたしたちも、イエス様からもらったものをだれかに見せられるようになりたいね！

いの

祈り 天のお父様、自分のものではなく、イエス様からもらったものをだれかに見せることができますように。

5月26日（木）



使徒3・6



金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。 6節

ペテロは、自分のことをよく知っている人だったと思うよ。イエス様が十字架につくときにうそをついてにげちゃった、弱くてかっこわるい人間だって。でも、ただの漁師だった、弱いダサイ自分でも、だれにも負けない宝ものがあることがわかったの。それはイエス様！！

聖霊を受けたとき、イエス様が心の中に住んで、はげまし、勇気づけ、福音を伝える力や知恵になってくれることがわかったんだ！

あなたの心には、イエス様がいますか？

イエス様がいるならば、どんなことにも負けないで、何度でも立ち上がれるんだよ！

いの

祈り 天のお父様、宝もののイエス様を心にもらって、どんなことにも負けないわたしでいたいです。

5月27日（金）



使徒3・7～8



歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。 8節

足の不自由な男が、イエス様のお名前ですくよう命じられると、あらフシギ！ 足がみるみる元気になってぴょんっと立ちあがったのです！ そして、神様を心からさんびし、れいはいをしに行きました。「イエス様のお名前」とは、イエス様ご自身のこと。男の人はその日をすごす「お金」をもらうつもりだったのに、「イエス様ご自身」をいただいたのでした！

イエス様をいただくことが、人をこんなに元気にすること、神様をれいはいする生活にすることがよ～くわかるおはなしだね。

いの

祈り 天のお父様、イエス様をいただいて元気いっぱいになり、あなたのすばらしさをもっとわかる生活をできますように。

5月28日（土）



使徒3・9～10



彼の身に起こったことについて、驚き怪しんだ。 10節

イエス様のしてくださることは、いつもふしぎやおどろきでいっぱい！

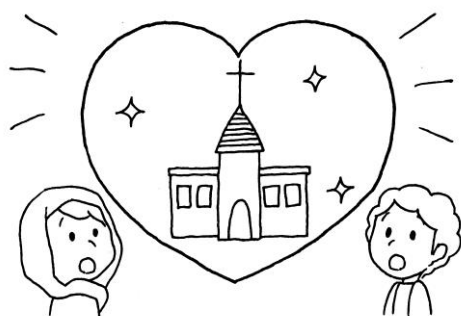
このときも、足が治った男の人がおどろいただけでなく、それを見ていた人たちみんな、びっくりぎょうてんしたって！

「何が起こったんだ！」「いったいこんなことができるのはどんなお方だ！」「どういことだか知りたい！」そんな、人々をあっと言わせるほどの力がイエス様にはあるのです。

あなたも、イエス様がいっしょなら、あなたにしてくださったイエス様の救いのわざで、お友だちをあっと言わせられるんだよ。

いの

祈り 天のお父様、人をあっと言わせる、力あるイエス様と、これからもいっしょに歩いていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒5・1～11
アナニヤとサツピラ
教会全体ならびにこれを伝え
聞いた人たちは、みな非常なおそ
れを感じた。 使徒5・11

目標

神を畏れ、真実な生活をする。

5月29日（日）

聖書
聖句

使徒5・11
教会全体ならびにこれを伝え聞
いた人たちは、みな非常なおそれを感じ
た。 11節

あなたは、献金をささげるとき、どんな気もちで献金をしますか？ また、あなたが人を助けてあげるとき、どんなことを感じますか？

人どうしても、教会も、愛しあつて、支えあつて、神様に喜ばれるように生きていたいよね。

そのために一番たいせつなことはなんだと思いますか？ それは「心」！ うそのない心、あたたかい、やさしい、人と神様を思う心です。

はじめてこの世界に教会ができたときもそうでした。自分だけがほめられたいと思わず、神様と人を思い、たいせつにしたから祝福されたんだ！

祈り

天のお父様、自分のことでなく、あなたと人を思える心でいられますように。

5月30日（月）

聖書
聖句

使徒5・1～2
代金をごまかし、一部だけを持ってきて、使徒たちの足もとに置いた。 2節

教会が初めてできたとき、みんな心を一つにし、神様のためにはたらきました。だれも、持ちものをひとりじめせず、みんなでわけ合つて助け合っていました。ある人は家や土地を売ったお金をみんなのためにささげました。

ところが！ アナニヤとサツピラという夫婦は、持ちものを売ったお金をごまかして持ってきて、「これが全部です」という顔をしました。

ささげたんだからいいじゃない！ と思う？ でも、「ささげ方」はもっと大事！ ごまかさず、ウソをつかず、すきとおったきれいな心でいなければ、喜んでほもらえないですよ。

祈り

天のお父様、ささげる心が、あなたに喜ばれる心でいられますように。

5月31日（火）

聖書
聖句

使徒5・3
どうしてあなたは、自分の心をサタンに奪われて、聖霊を欺き、地所の代金をごまかしたのか。 3節

神様を信じるすべての人が心を一つにできるってとってもすばらしいこと！ 年や性別や、身分、色んなちがいがあっても、聖霊が与えられたなら愛しあい、支えあい、助けあえるんだ。

だけど、サタンはいつも、どうやってわたしたちを神様や教会からうばおうかとねらっています。お金や、好きなこと、自分がとくすることが目の前に来たとき、あなたがそれを正しく使えないことをサタンは知っているのです。

だからこそ、聖霊を欺いて悲しませてはならないのです、負けてはならないのです。

祈り

天のお父様、サタンに勝つ力をください。聖霊を悲しませない毎日をすごせますように。

6月1日（水）

聖書
聖句

使徒5・4

あなたは人を欺いたのではなくて、
神を欺いたのだ。 4節

神様がどれだけあなたによくしてくださっているか、かんがえることはありますか？

あなたを造り、あなたを守り、助け、愛して、ご自分の命よりもたいせつなイエス様を、罪の身代わりに十字架につけてくださいました。

その、神様からの恵みをわすれるとき、人は平気で罪をおかしてしまいます。

うそをついたとき、じょうずに人をだますことはできるかも。でも、神様をだますことはできませんよ。神様は、あなたが見てほしいことだけでなく、見ていてほしくないことも、なにもかも知っていて、正しい心で生きてほしいとねがっておられるのです。

いの 祈り 天のお父様、うそをついてあなたに罪をおかすことがありませんように。

6月2日（木）

聖書
聖句

使徒5・5～6

アナニヤはこの言葉を聞いているうちに、倒れて息が絶えた。 5節

アナニヤは、ペテロの言葉を聞いているうちに、神様のさばきをうけて死んでしまいました。教会の人たちは、神様がどれほど罪にきびしく、おきらいかを、このじけんをとおして知りました。どんなに小さな罪でも、それが教会の中に入っていくと、ちょうど風邪をひいたようにどんどんと体中に広がってしまうのです。

教会が神様に喜ばれ、健康でいるためには、どんな小さな罪も入ってはならないのです。

このじけんは、神様のきびしさだけでなく、教会を守り、成長させたいという、神様の愛であることも知ってくださいね。

いの 祈り 天のお父様、教会を守り成長させるために、きびしいさばきもなさることを知りました。

6月3日（金）

聖書
聖句

使徒5・7～10

彼女は「そうです、その値段です」と答えた。 8節

アナニヤが神様のさばきをうけて死んだことを知らないサツピラが、ペテロのところやってきたとき、ペテロは「本当に、あの地所の値段はああなのか？」と、もういちど聞きました。サツピラはドキッとしたらうね。でも、ウソだなんて言えませんでした。

いちどウソをつく、そのウソをかくすためにまたウソをつきそうになります。でも、たいせつなのは、本当にそうなの？と聞かれたとき、すなおに「ウソについてごめんなさい。」と神様や、人におわびすることだよ。

悔い改めのチャンスににがさないでね！

いの 祈り 天のお父様、せっかくの悔い改めのチャンスににがすことがありませんように。

6月4日（土）

聖書
聖句

使徒5・10～11

それを運び出してその夫のそばに葬った。 10節

あなたは、罪をおかしてしまった人を見たらどんな気もちになりますか？「あんたなんか知らない！」とか「どっか行け！」って思う？でもね、ペテロの教会の人を見て！死んだアナニヤとサツピラをきちんとお墓に入れてあげたみたい！どうしてだと思おう？

それは、アナニヤとサツピラも神様に同じように愛されてきた人間だから。自分たちも、イエス様の十字架で罪を赦された人間だし、これからは、罪をおかすかもしれない弱い人間だから。いつでも、どんな人にも愛の心でせつすることが神様の御心だとわかっていたんだね。

いの 祈り 天のお父様、どんな人にも愛の心でせつすることができるよう。あなたに喜ばれる人間でいられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒7・54～60
ステパノの殉教
ああ、天が開けて、人の子が神の
右に立っておいでになるのが見
える。 使徒5・56

目標

天を見上げ、キリストを証する
生涯を送る。

6月5日（日）

聖書
聖句

使徒7・56
ああ、天が開けて、人の子が神の右
に立っておいでになるのが見える。
56節

信仰と聖霊に満ち、イエス様のために命を
なげだしたステパノを知っていますか？

イエス様を救い主と信じただけで、迫害され
る時代がありました。でも、ステパノには「死
がすべてのおわり」ではありませんでした。

そう、死の向こうにある「永遠の命」と、天
ですべてを見ておられ、もういちど来られるお
方がはっきりと見えていたんだね。

今あるしあわせや、自分を守る安全ではなく、
たいへんなとき、つらいときこそ、天のイエス
様を見上げて生きていきたいね。

祈り 天のお父様、たいへんなときこそ、天に
イエス様がおられることを思いだせま
すように。

6月6日（月）

聖書
聖句

使徒7・54
人々はこれを聞いて、心の底から
激しく怒り、ステパノにむかって、歯
ぎしりをした。 54節

神様のこと、イエス様を証するってなんだ
ろう？って考えたことはありますか？

クリスチャンどうしならきっとイエス様の
ことを話しあうのは楽しいよね。

でも、ほんとうにイエス様の救いがひつよう
なのは、今日のお話にでてくる、イエス様の
ことを聞いたなら怒りだすような人たちのはず。

わたしたちのまわりには、キリスト教とい
うだけで心をとぎす人、にげていく人、こう
げきする人がたくさんいます。

そんな人にイエス様の救いがとどきますよ
うに、とまずは祈ってみる一週間にしようね。

祈り 天のお父様、わたしの近くにいます○さん
にあなたの救いがとどきますように。

6月7日（火）

聖書
聖句

使徒7・55
しかし、彼は聖霊に満たされて、天
を見つめていると…見えた。 55節

今にもおそいかかってきそうな人たちの前
に立たされたら、きっとすごくこわいよね。

でも、ステパノを見ると、こわがるどころか、
キラキラかがやいてみえてくるでしょう？

そのヒントは「聖霊に満たされる」ってこと
だと、聖書は教えてくれるよ。聖霊が、すべて
のおそれや、不安や、おくびょうな気もちを取
り去って、イエス様だけを見ることができるよう
にしてくれるんだね！

もし、あなたが人をこわがっているなら「こ
のよわいわたしを聖霊で満たしてください」と
お祈りしよう。天のイエス様が見えるよ！

祈り 天のお父様、よわいわたしを、ステパノ
のように聖霊でいっぱい満たしてく
ださい。

6月8日(水)



使徒7・55～56

ああ、天が開けて、人の子が神の右に立っておいでになるのが見える。
56節

今、イスという宗教テロリストグループが、多くの人たちをつかまえては殺しているのが、大きな問題になっていますね。日本人でも、後藤健二さんというクリスチャンが、自分の友を助けようとしてこのイスにつかまり、殺されました。

友を助けようと命をなげだす人と、気に入らない人はみな殺す人、どちらが正しい人か、どちらが聖霊に満たされているか、だれにだって分かるよね。

まさにステパノのときも、そのようでした。

いの祈り

天のお父様、わたしも、だれが見てもわかるほど、聖霊に満たされている人らしい人生をあゆませてください。

6月9日(木)



使徒7・57～58

人々は大声で叫びながら、耳をおおい、ステパノを目がけて、いっせいに殺し、彼を市外に引き出して、石で打った。
57～58節

人が罪を言いあてられたとき、ふたつの態度が考えられます。ひとつめは、「いや、わたしこそ正しい！ 悪いのおまえのほうだ！」という態度。もうひとつは「わたしは罪をおかしました。どうかゆるしてください」という態度。

神様は、罪を悔い改めるチャンスをご下さるお方です。そのときにどのような態度をとるかで、「永遠の命への道」と「永遠の滅びへの道」が分かれてしまうことがあることを知っておかなければいけませんね。

いの祈り

天のお父様、悔い改めのチャンスをのがさないで、永遠の道へ進んで行けますように。

6月10日(金)



使徒7・59

主イエスよ、わたしの霊をお受け下さい。
59節

イエス様も、十字架についたとき、苦しみの中で「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」と言われました。

苦しめられたとき、「やめてよ！」「いつかおぼえとけよ！」と言ってしまうのが人間というものだけど、クリスチャンはちがうね！十字架の苦しみをのりこえたイエス様を知っているから。天でイエス様が、わたしをまるごと受け入れてくれることを知っているからね。

聖霊に満たされると、イエス様に一歩、また一歩と近づき、似ていくことを、ステパノは教えてくれますね。

いの祈り

天のお父様、わたしを赦し、まるごと受け入れてくださったイエス様に、一歩ずつ近づいていきますように。

6月11日(土)



使徒7・60

主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わせなさい。
60節

「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」というイエス様のことを、聖霊の助けを受けてさいごまで守りぬいたステパノ。

だれかのために苦しんだのに、なにも良いことはなかった、お祈りはムダだった、と思っている人はいませんか？いいえ、それが小さく、だれの目にもとまらないようなものだったとしても、神様にわすれられることはありません。

ステパノのできごとをとおして、福音は世界へと広がっていくことになり、ついにわたしたちのもとへととどいたのです。

あなたの祈りも、とどいているよ！

いの祈り

天のお父様、だれかの救いのため、わたしも祈りつづけていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

Ⅱコリント 2・12～17
キリストの香りとして
わたしたちをとおしてキリスト
を知る知識のかおりを、至る所に
放って下さるのである。

Ⅱコリント 2・14
目標 キリストを知る知識の香りを
放って生きる。

6月12日(日)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・14
わたしたちをとおしてキリストを知る
知識のかおりを、至る所に放って
下さるのである。 14節

今日は花の日です！ お花はキレイなだけでなく、良い香りがしますよね。「おや、くんくん…」と、つい近づいてしまうし、何だか幸せな気持ちになります。

今週のキーワードは、「キリストを知る知識の香り」。イエス様を知ることは、素晴らしい香りなんだよ、と香りにたとえているんですね。イエス様って、知れば知るほど素晴らしいお方。もっと近づきたくなるし、本当の幸せをくださるんですよ。もっと知りたいですね、イエス様のこと！

祈り 天のお父様、イエス様のことをもっと知りたいです。もっとイエス様に近づくことができますように。

6月13日(月)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12～13
わたしは気が気でなく、人々に別れて、マケドニヤに出かけて行った。 13節

イエス様のことを人々に伝えることが、いちばんの幸せだったパウロ。でも、なんだか元気がありません。コリントの教会で働いていたテトスから教会の様子を聞いたかったのに、会えなかったのです。パウロは不安でいっぱいのまま、マケドニヤに出かけて行きました。

パウロは自分のことを考えて不安だったのでありません。コリント教会の人々を心配して、いつもお祈りしていたからなのです。自分より、愛する人々を思って祈るパウロ。素晴らしいキリストの香りを放つ人のすがたです。

祈り 天のお父様、わたしは自分の心配ばかりしやすいです。周りにいる人々のために祈る人にならせてください。

6月14日(火)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12～14
しかるに、神は感謝すべきかな。神はいつもわたしたちをキリストの凱旋に伴い行き、 14節

パウロはつづけて言います、「不安でいっぱいだったけど感謝します」って。「キリストの凱旋に伴い行き」というのは、どんなときだって、神様は優勝パレードをするみたいに勝利させてくれる！ということ。つらい時も不安な時も、神様は素晴らしいことをしてくれるんです。

神様はつらいことも用いる、すごいお方ですよ。あなたが「もうダメだ～」と思うことがあっても、神様にとってはダメじゃない！ どんな時も勝利をくださるのが神様です。

祈り 天のお父様、わたしがつらいときにも、あなたがきつと、素晴らしいことをくださると信じてあゆみます。

6月15日（水）

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12～14

わたしたちをとおしてキリストを知る知識のかおりを、至る所に放って下さるのである。 14節

わたしたちに勝利をくださる神様。それだけでなく、わたしたちをとおして、「キリストを知る知識のかおり」を放ってくださる、とパウロは言います。イエス様って、どんなお方か？ いろんなことをして下さったお方か？ あなたをとおして、人々に伝わっていくんですって。それはまるで、香りのようにひろがっていくんですって！

イエス様のすばらしさを伝える、すてきな香りとなって、用いられたいですね。こんなすてきな香りはどこにもない！

いのちの祈り 天のお父様、わたしが「キリストを知る知識のかおり」となって、イエス様のすばらしさを伝えられますように。

6月16日（木）

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・15～16

わたしたちは、救われる者にとっても滅びる者にとっても、神に対するキリストのかおりである。 15節

ここでパウロはもう一度、わたしたちは神様の前には「キリストのかおり」だと言っています。イエス様のことを伝えて信じる人もいますが、なかなか信じてくれない人もいますね。そういう時は、とても悲しくなってしまう。

でも、落ちこまないで。あなたがイエス様を伝える時、神様がどんなによりこんでおられるか、思い出してください。人に反対されても、神様にとっては、あなたはすばらしいキリストの香り。人がどう思うかではなく、神様がどう思うかを考えると、元気がわいてくるんです！

いのちの祈り 天のお父様、神様が喜ばれることだけを考えていきます。キリストの香りとして、あきらめずに伝えたいです。

6月17日（金）

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・15～16

いったい、このような任務に、だれが耐え得ようか。 16節

パウロは、イエス様をお伝えする時はいつも真剣そのものでした。だって、信じる人には永遠の命があたえられて天国に行けるけど、もし信じなかったら、永遠の滅びにむかって行ってしまうのですから！ イエス様を伝える、ということは責任重大なのです。パウロは、「わたしには、こんな大切な働きはふさわしくない…」と思うほど、重い責任を感じていたのです。

パウロの真剣なすがたにならいたいですね。イエス様のことを伝えるときは、いつだって真剣にお祈りして、本気で伝えないと。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を伝えることがどんなに大きなことかわかりました。わたしも真剣にイエス様のことをお伝えしていきます。

6月18日（土）

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・17

真心をこめて、神につかわされた者として神のみまえて、キリストにあって語るのである。 17節

永遠の命か、永遠の滅びかが決まってしまう重大な働きだからこそ！ パウロは真心をこめてイエス様をお伝えしました。人の考えや人の都合のよいことは語らず、みことばをまっすぐに語りました。

これからも、毎日少しずつみことばを読んで、みことばを覚えてください。みことばから、神様のみこころを教えていただいてください。そうすれば、あなたもみことばをまっすぐに伝えられるようになります。キリストの香りとなって、パウロのあとにつづこう！

いのちの祈り 天のお父様、キリストの香りとして、あなたのみことばをまっすぐに語らせてください。

ちちのひ
父の日



聖書
テ一マ

ルカ 15・11～24
神に立ち返る

暗唱聖句

このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。

目標

ルカ 15・24
神のもとに真の幸いがあることを知り、神に立ち返る者となる。

6月19日(日)

聖書
聖句

ルカ 15・11～24

このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。 24節

「お父さん！ わたしがいただける財産をください」と、ある日突然、二人の息子のうちの次男がそう言い、たくさんのお金を持って家を出て行きました。お父さんは毎日のように、きょうかきょうかと帰りを待ちました。その息子は財産を使い果たし、ボロボロになり命からがら、でも心から悔改めて父のもとに帰ってきたのです。父は大喜びで迎え、みんな赦して、手放しで受け入れたのです。父なる神様のお姿です。罪をおわびして神様のもとに帰ろう！

祈り

天のお父様、あなたのもとにのみ本当の安心、喜び、幸せがあることが、このお話でよくわかります。

6月20日(月)

聖書
聖句

ルカ 15・11～12

父よ、あなたの財産のうちでわたしがいただく分をください。 12節

ふつう財産をゆずってもらうのは、お父さんが亡くなったあとなのですが……。弟息子はこんな無理な注文をお父さんにしました。やさしいお父さんはちゃんと二人の息子たちに分けてあげたのです。弟息子は、自分の思うとおりに、行きたい所へ行き、やりたい放題にできることが自由だし、幸せだと思っていたにちがいません。神様を信じない時には、みんなそう思うのですね。あなたもそう思いますか？

祈り

天のお父様、あなたから離れていては、何をしたとしても、幸せでも満足でもないことをよくよくわからせてください。

6月21日(火)

聖書
聖句

ルカ 15・13～14

何もかも浪費してしまったのち、その地方にひどいききんがあったので、彼は食べることに窮しはじめた。 14節

たくさんのお金をもって、弟息子は家から遠い所へ行きました。「さあ、自由だぞおー！」って。お金のことを「お足」というくらい、お金には足があつて、あつという間に逃げて行くのです！ 悪い遊びのとりこになって、たちまちお金は消えてしまいました。おまけにその地方にひどいききんがあつて、彼は食べることに困るほどになりました。さあ、大変。頭の中は真っ白、顔は真っ青、胃袋はカラッポです。

祈り

天のお父様、自分の欲のとりこになっていく時、本当にどうしようもない所に追いやられることがわかります。

6月22日（水）

聖書
聖句

ルカ 15・15～16

彼は、豚の食べるいなご豆で腹を満たしたいと思うほどであったが、何もくれる人はなかった。 16節

何か働いて、食べ物を手に入れないと、ある住民のところをたずねたら、畑に連れて行かれて、「ここで豚を飼うんだぞ」と言われたのです。「えーっ、汚い動物、臭い動物だ」と思いましたし、おまけに、ますますお腹はペコペコです。背中のお腹の皮とお腹の皮がくっつくほど！「豚のえさでも……!?」と思うほどでしたが、何もくれる人はいません。死ぬほどお腹がすくなると、とてもとても残酷ですよ。

祈り

天のお父様、昔、父のもとにいた時の弟息子とはとても思えないみじめな姿です。あなたを離れた人の姿です。

6月23日（木）

聖書
聖句

ルカ 15・17～19

立って、父のところへ帰って、こう言おう、父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかって、罪を犯しました。 18節

「そこで彼は本心に立ちかえって」ここが一番大切なところです！彼はこれまで、うわべしか見えなかったのです。自分の心もうわべしか見えず、自分の心もごまかし、おどらされていたのです。しかし、「ここで飢えて死のうとしていた」と本当の自分がハッキリ見えて、やっとこさ、ハッと、我に返った、本心に立ち返れたのです。それはつまり、神様のもとに、父のもとに立ち返ることにつながっていきました。

祈り

天のお父様、彼の心がくると180度、自分中心から神様の方に向きを変えられたことがわかり、感動します。

6月24日（金）

聖書
聖句

ルカ 15・20～23

まだ遠く離れていたのに、父は彼をみとめ、哀れに思っ走り寄り、その首をだいて接吻した。 20節

「そこで立って、父のところへ出かけた」。ちゃんと、悔改めができていた証拠ですね。彼はもう、徹底的に心がくだかれ、低くされ、息子の資格はありません。雇人のひとりとして働きますとさえ言う覚悟だったのです。ところが、ところがです！父はその日息子を発見！きつと服はボロボロ、頭はボウボウ、やせこけた彼に走り寄り抱きしめ首に接吻したのです！さあ、着物だ、指輪だ、はきものだ、子牛の料理だ！って。

祈り

天のお父様、オドロクばかりの父の愛！今、あなたも、あなたのもとに立ち返る者を待ち構えておられるのですね。

6月25日（土）

聖書
聖句

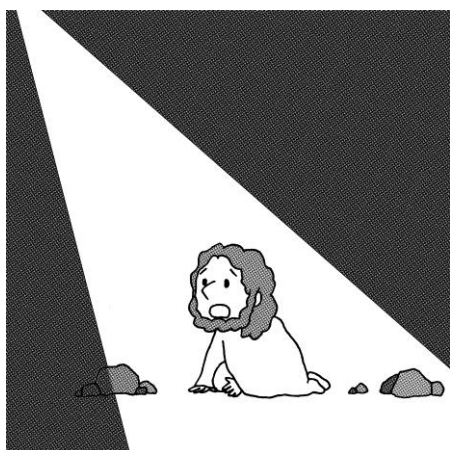
ルカ 15・24

それから祝宴がはじまった。24節

「死んでいたと思っていた息子が生き返ったんだ！いなくなっていた息子が見つかったんだ！」父の喜びで興奮している様子がすごく伝わってきます。財産を使い果たしてしまっただなんて、遊びほうけていたなんて、もう、全く忘れ去られて、とにかく、息子が目の前にいるということが、最高の喜び。こんなにまでして迎えられた息子は、「ああ、お父さんのところこそ最高に幸せなところ」と確信したでしょう。

祈り

天のお父様、何とうれしい祝宴だったことでしょう。今もあなたのもとに立ち返る時、天でも祝宴なのですね。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒9・1～19
天からの光に照らされて
天から光がさして、彼をめぐり
照した。使徒9・3
天からの光に照らされ、キリス
トによる新生の恵みに生きる。

目標

6月26日（日）

聖書
聖句

使徒9・3
天から光がさして、彼をめぐり照
した。3節

今週の聖書の箇所には、サウロという人が登場します。この人は、実はパウロです。イエス様と出会う前はサウロ、と呼ばれていました。そんな彼に、天から光がさして、彼はイエス様と出会うのです。

あなたは、どんなふうにイエス様と出会いましたか？ 友だちに教会にさそわれて出会った人、生まれた時から教会に行っていて出会った人、出会ったのかよくわからない人、様々ですね。今週は、あなたの心の中に天から光がさして、サウロのようにイエス様と出会う体験をしてほしいのです。

祈り 天のお父様、わたしもサウロのように、イエス様と出会う体験ができるように、みちびいてください。

6月27日（月）

聖書
聖句

使徒9・1～2
さてサウロは、なおも主の弟子たち
に対する脅迫、殺害の息をはずませ
ながら、1節

サウロは、イエス様を信じるクリスチャンが大好きでした。「イエスが復活したなんてウソだ！」と怒りに燃えて、教会を荒らして人々を牢屋に入れていました。それが正しいことだと思いこんでいたのです。それは、サウロがイエス様に出会ったことがなくて、どういうお方かわからなかったから。

あなたの周りに、教会やイエス様を良く思わない人がいるかもしれません。それは、イエス様のことを全然知らなくて、わからないからです。イエス様のこと、知ってほしいですね！

祈り 天のお父様、わたしの周りにいるすべての人に、イエス様がどういうお方か知ってもらえるように。

6月28日（火）

聖書
聖句

使徒9・3～6
「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害
するのか」と呼びかける声を聞いた。4節

サウロがクリスチャンをつかまえるため、道をいそいでいた、その時！ 天からものすごく強い光がさして、サウロを照らしました！ 光の中からこえが聞こえます…「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」。なんと、イエス様の声だったのです！ サウロは大ショック。イエス様の十字架と復活はウソだと思っていたのに。

サウロはイエス様の声をハッキリ聞き、イエス様と出会いました。イエス様に出会うためには、だれの言葉より、イエス様の言葉のみ言葉を聞くことが必要なのです。

祈り 天のお父様、わたしが、なによりもイエス様のみことばを集中して聞くことができるように、助けてください。

6月29日（水）

聖書
聖句

使徒9・7～9

彼は三日間、目が見えず、また食べることも飲むこともしなかった。

9節

天からの光に照らされたサウロは、目が見えなくなりました。見えないまま三日間、なにも食べず飲まずにお祈りしていました。「イエス様にたいしてひどいことをしてきました。どうかおゆるしてください…」。

目が見えない三日間は、サウロが罪を悔いあらめるための大切な時間でした。イエス様に出会った人は、必ず自分の罪がわかるようになるのです。罪を悔いあらためる時間をもつことは、あなたにとっても、どうしても必要なことです。

いの

祈り 天のお父様、わたしの心の中も光で照らして、罪を教えてください。私の罪をどうぞおゆるしてください。

6月30日（木）

聖書
聖句

使徒9・10～16

わたしの名を伝える器として、わたしが選んだ者である。

15節

サウロがいたダマスコに、アナニヤというクリスチャンがいました。そのアナニヤにイエス様は、「サウロの所へ行きなさい」と命じられました。アナニヤはびっくり！「サウロって、おそろしい迫害者のはずなのに…」。しかしイエス様は言われました、「彼は、わたしのことを伝える人として、わたしが選んだのだよ」。

たしかに、サウロはたくさんの罪をおかしてきました。でも、そんなサウロをイエス様はゆるすだけじゃない、選んでくださったのです。イエス様と出会って、罪を心から悔いあらめた人は、イエス様のために働く人になれるのです！あなたも！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、イエス様のために働く人になれることを感謝します。

7月1日（金）

聖書
聖句

使徒9・17

そこでアナニヤは、出かけて行ってその家にはいり、手をサウロの上において言った、

17節

アナニヤは、「こわい！」という思いはあったでしょう。しかし、イエス様に従ってサウロがいる家に行きました。そして、サウロの上で手をおき、こう呼びかけました、「兄弟サウロよ。教会では、クリスチャン同士で兄弟姉妹とよびます。アナニヤはサウロをゆるし、「兄弟」と呼んだのです。

自分に悪いことをする人がいても、愛してゆるすのがクリスチャンなのですね、イエス様のように。サウロはアナニヤをとおして、イエス様の愛、ゆるしを知ったのでした。

いの

祈り 天のお父様、わたしもイエス様のように、どんな人であっても愛し、ゆるす人にならせてください。

7月2日（土）

聖書
聖句

使徒9・18～19

サウロの目から、うろこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。

18節

アナニヤに手をおいてもらったサウロの目から、ポロっと何かが落ちました。「うろこのようなもの」ですって。そしてサウロは、元どおり見えるようになりました。イエス様と出会ったサウロの、新しい人生の始まりです！サウロはイエス様を信じて罪ゆるされ、神の子として新しく生まれる経験をしたのでした。この経験を「新生」といいます！

あなたにも、イエス様のみことばの光がさしています。ハッキリとイエス様を信じて、新生の恵みをいただきましょう。サウロのように、神の子としての人生を歩きはじめよう！

いの

祈り 天のお父様、わたしも神の子として、新しい人生を歩ませてください！